

国民民主党 衆議院議員



長友しんじ

PRESS

長友しんじ事務所 〒882-0823 宮崎県延岡市中町2-2-20 2階
TEL 0982-21-1118 ・ FAX 0982-20-2012

初当選から半年、20回質疑・討論に立ちました！

12
回

農林水産委員会

4
回

沖縄及び北方問題に
関する特別委員会

2
回

予算委員会

2
回

本会議

①12/22 農林水産委員会（畜産価格等に関する件）②2/8 予算委員会 ③2/16 予算委員会第5分科会（厚生労働省所管）④2/22 本会議（所得税法等改正案について賛成討論）⑤3/2 農林水産委員会（大臣所信に対する質疑）⑥⑦⑧3/3、3/7、3/9 沖縄及び北方問題に関する特別委員会（沖縄振興特別措置法の一部を改正する法律案）⑨3/15 農林水産委員会（土地改良法）⑩3/17 農林水産委員会（一般質疑：J-クレジット制度について）⑪⑫⑬3/23、3/24、3/30 農林水産委員会（みどりの食料システム法案／植物防疫法）⑭4/6 農林水産委員会（一般質疑／農業委員会について）⑮⑯⑰4/12、4/13、4/20 農林水産委員会（基盤法、農山漁村活性化法）⑱4/21 沖縄及び北方問題に関する特別委員会（一般質疑）⑲本会議（福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律案）⑳農林水産委員会（一般質疑）



宮崎県連定期大会

ウクライナへの人道支援も！



国民民主党宮崎県総支部連合会は3月20日、オンラインで各会場をつなぎ定期大会を開催しました。新体制が承認され、私、長友慎治が宮崎県連の新代表に選出されました。

■投票日まで100日を切った参議院議員選挙：宮崎選挙区党公認候補予定者の黒木章光氏の力強い決意表明に続いて、私は全国比例に立候補予定の先輩議員の皆さんについて、国会でのエピソードを交えながら、紹介しました。

■国民民主党として取り組んでいるウクライナへの支援募金：宮崎県連では、大会前日に日向市で実施し、10万円を超える支援金が集まりました。ご協力いただき、誠にありがとうございました！

来年の統一地方選挙では、志を同じくする若い仲間が増える予定です！

宮崎県連公認候補予定者は次号にてご紹介します。

農水委で、生産者の皆さんの声を届けています。

3/15 土地改良法の一部を改正する法律案

圃場を整備し、農業用のため池や、水路など様々な土地改良施設の維持や管理をしているのが土地改良区です。地元の農業を営む方で組織されていますが、その職員の方の高齢化や後継者不足が課題となっています。人命を第一に、現場の安全管理を把握していただきたいと求めました。

また、基幹的な農業水利施設、農業インフラの相当数が、戦後から高度経済成長期にかけて整備されたことから、施設の老朽化に起因する事故・故障などが毎年1,000件以上発生していると分かりました。

農業は社会的共通資産です。農林水産省に農業インフラの整備と事故防止への十分な予算確保を求め、私も地域の土地改良区の皆様と一緒に良好な営農環境の維持に取り組んでいきたいと思っております。



▲この日は採決もあり、賛成多数で可決されました

3/23、24、30 みどりの食料システム法案 / 植物防疫法の一部を改正する法律案

農家の魅力を伝え、担い手不足を解消するには、初等教育から！

私の地元、宮崎では、農業小学校という取り組みがあります。その中の財光寺農業小学校（日向市）での経験を踏まえ、農業の人手不足・担い手不足の解消には子どもの頃から農業に親しむ環境づくりが欠かせないことを提案しました。子どもたちが有機農業に接する機会を充実させることが、みどりの食料システム戦略の目標達成に欠かせないと考えています。

“小学校・中学校の授業に「農業」という科目を入れることができないか。”

実現したら画期的です。諦めずに粘り強く提案しつづけます！

みどりの食料システム戦略の主な目標

- ① 農林水産業のCO₂排出量の実質ゼロ化
- ② 有機農業を全農地の25%（100万ha）へ拡大
- ③ 化学農薬の使用量半減
- ④ 化学肥料の使用量30%減



みどりの食料システム戦略は野心的な目標、達成するために思い切った施策を

大学関係者や民間で有機農業に携わる専門家を招いての参考人質疑では、「宮崎ひなた食べる通信」の編集長として、有機農業に取り組む地元の生産者さん取材し、販路を広げるお手伝いをしてきた経験から「みどりの食料システム戦略」を本気で農業の切り札にすべく、皆様と意見交換しました。

有機農業を営むファームの代表が、体験学習の小学生から「農家さんって貧乏なんですよ」と言われたエピソードは、私自身も衝撃を受けました。その際、学校教育現場で国産思考、食料安全保障などの観点からしっかりした教育が行われていないという指摘があり、農林水産省と文部科学省に認識を求めました。

文部科学省からは、地場産物を使った給食を通じ、強力に推進するという答弁をいただき、金子農林水産大臣に連携した推進をお願いしました。

カロリーベースの食料自給率が過去最低の37%と低迷している今こそ、命を支える農業の重要性をもっと多くの国民に理解してもらう必要があります。

詳細は  YouTubeチャンネル「うさぎとしんじ」をご覧ください。

長友しんじは竹詰ひとしさんを応援しています

参議院選挙に初挑戦される竹詰ひとしさんは、慶應義塾大学体育会卓球部の主将を務め、OBになってからは監督も引き受けた4人の父親です。私も早稲田大学ワンダーフォーゲル部の主将を務め、ヘッドコーチとして後輩を指導した経験から竹詰さんが後輩想いの面倒見のいい先輩であることがよく分かります。東京電力の労働組合でも書記長、委員長を務め働く仲間の安心・安全の確保に全力に取り組まれてこられた竹詰さん。これからは国民の暮らしと安心を守るべく、現実的なエネルギー・環境政策の実現を掲げる竹詰さんと一緒にぜひ国会で働きたい!! ともに頑張ります！

